



新春を迎えて

川越市長 舟橋功一

市民の皆様、明けましておめでとございます。

皆様には、輝かしい平成十九年の新春を健やかに迎え、のこととお喜び申し上げます。

また、日ごろから市政に対しまして、温かいご支援とご協力をいただいておりますことに、心よりお礼を申し上げます。

昨年十月十日、自動車の「川越ナンバー」が、本市および坂戸市・鶴ヶ島市・毛呂山町・越生町の五市町に導入されました。市民ならびに関係団体の皆様に多大なるご協力をいただき、あらためてお礼申し上げます。

最近では、川越ナンバーの自動車を見かけることも多く、これらの自動車が全国を走るることによって、川越地域



昨年10月10日に誕生した、川越ナンバー

の知名度が高められるとともに、地域の活性化や観光振興に寄与するものと期待しております。

また、昨年四月には、まちづくりを進める指針となる第三次川越市総合計画がスタートいたしました。「ひと、まち、未来、みんなで作る いきいき川越」を目標とし、これを実現するために「地域での支え合いや協働」「地域の活性化」を重視して、さまざまな施策を展開しております。

それでは、本年実施を予定している主な事業などにつきまして、その概要を述べさせていただきます。

市民参加と協働の推進

地方分権の進展に伴い、地域の課題に取り組む際に、市民の皆様が積極的なかかわりが求められています。市民の



現在建設中の（仮称）高階地区公共施設の完成予想図

皆様が市政に参加・参画するための仕組みづくりとして、市民参加に関する条例の制定を検討してまいります。本年は、その取り組みの一つとして、市が重要な計画や条例を定める場合に市民の皆様のご意見を伺う、意見公募手続き（パブリック・コメント手続き）の条例化を進めてまいります。

健全で効率的な行財政運営の推進

国・地方を通じて財政状況が厳しい中、よりいっそう健全で効率的な行財政運営を推進するため、昨年「川越市集中改革プラン」を策定いたしました。また、自治体を経営するという視点から、経営戦略会議を設置し、諸課題に取り組んでいくための方針を定めました。引き続き、行政改革を積極的に進めてまいります。

また、行政需要の変化に対処し円滑な行政運営を図るため、本年四月、全庁的に組織改正を行います。

健康でいきいきと暮らせるまち

地域における相互扶助機能の希薄化など、家庭や地域を取り巻く環境が大きく変化しております。だれもが安心して生活できる地域社会をつくるためには、住民が自立し、互いに助け合い、地域の活動に積極的に参加していくことが重要です。そのような地域社会を実現するために、昨年「川越市地域福祉計画」を策定いたしました。今後、この計画に基づき、ボランティア活動や地域福祉活動への支援を行ってまいります。

少子化が進行している中、次代を担う子どもたちが心身ともに健やかに成長できるよう、社会全体で子育て支援の環境を整備する必要があります。引き続き、地域子育て支援センターやつどいの広場を拡充してまいります。

高齢者および障害のある方が、健康でいきいきと安心して暮らせるよう、保健・医療・福祉の各サービスの充実を図ってまいります。

豊かな心と文化をはぐくむまち

近年の生涯学習への意欲の高まりや、団塊の世代が退職の時期を迎えることなどにより、学習機会の充実や地域内で活動の場が求められております。学習の機会を増やすために、ボランティアによる市民講座の開催など、引き続き各種講座の充実を図ってまいります。また、現在建設中の（仮称）高階地区公共施設につきましては、公民館・出張所・図書館・児童青少年施設の機能を持つ地域の拠点施設として、来年三月に工事が完了します。

学校教育につきましては、本市独自の少人数学級の実施、いじめ問題への対応を含めた教育相談体制の整備など、きめ細かな指導をさらに推進してまいります。また、老朽化した校舎などの改修工事や耐震補強により、教育環境の整備に努めてまいります。なお、改築工事を進めておりました月越小学校につきましては、工事が完了し、昨年十二月から新校舎での授業が始まっております。

快適な基盤を備えた魅力あるまち

都市機能を形成し、市民生活を支える基盤整備につきましては、少子高齢社会と人口減少に備えて、すべての人に